

名古屋大学未来材料・システム研究所教授公募要領

1	募集件名	教授の公募
2	所属	未来材料・システム研究所附属高度計測技術実践センター
3	募集内容	<p>名古屋大学未来材料・システム研究所では、附属高度計測技術実践センターにおける研究活動をさらに発展させることのできる人材を求めて、教授1名の募集を行います。</p> <p>当研究所は、先端的な材料・デバイスの創製・評価に関する要素技術から社会実装に資するシステム技術に至る研究を通して、環境調和型で持続発展可能な社会の実現に寄与することを目的としています。中でも高度計測技術実践センター・素粒子計測部では、原子核乾板施設を核にした世界的にもユニークな素粒子計測技術の開拓、高度化を推進しています。本募集に関する素粒子計測部では、高度計測技術として原子核乾板製造装置および原子核乾板に写った飛跡を自動かつ世界最高速度で読み取る装置を開発・運用しています。原子核乾板は素粒子飛跡の位置・角度の測定精度が極めて良い検出器でありながら、電源不要で設置しておくだけで素粒子の飛跡を記録・蓄積できる省エネルギーかつコンパクトな検出器という特徴を持っています。これまでも遺跡等の構造物の透視、天体からの<math>\gamma</math>線観測、素粒子実験研究などを行ってきました。素粒子計測部は原子核乾板の世界の研究開発センターとして更なる実験規模の拡大要求に対応し、技術革新に不可欠な計測技術の高度化によって、基礎から応用研究までを幅広く推進していきます。</p> <p><b>募集する研究領域</b></p> <p>当センターでは、原子核乾板関連技術の研究開発センターの役割を担うべく自動飛跡読み取り装置の開発・運用体制の構築・維持、原子核乾板の性能向上開発、原子核乾板を使った実験研究を推進できる人材を募集します。また、国内外の研究機関との連携を図り、当該研究を推進していただけるとともに、素粒子計測・分析技術の人材育成および原子核乾板技術の普及に積極的な人材を希望します。</p> <p>なお、名古屋大学は、業績(研究業績、教育業績、社会的貢献、人物を含む。)の評価において同等と認められた場合には、女性を積極的に採用します。</p> <p>業務内容</p> <p>(雇入れ直後)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高度計測技術実践センター・素粒子計測部における先端研究の推進および産学連携研究と、学部・博士前期・博士後期課程学生の教育を行いつつ、世界的に卓越した研究業績をおさめること。</li> <li>・未来材料・システム研究所の管理・運営にかかる業務、素粒子計測部の運営、高度計測技術実践センター内および理学研究科理学専攻との連携、競争的資金の獲得、国内および海外を含むダイバーシティの確保に向けた連携構築、さらに全学の管理・運営業務。</li> </ul> <p>(変更の範囲)</p> <p>東海国立大学機構が指定する業務</p> <p>[勤務地]</p>

		(雇入れ直後) 愛知県名古屋市千種区不老町 (変更の範囲) 東海国立大学機構が指定する就業場所	
		[募集人員]	1名
		[着任時期]	2025年4月1日
4	募集研究分野	大分類	数物系科学
		小分類	素粒子、原子核、宇宙線、宇宙物理にする実験
5	勤務形態	常勤(任期無)(研究プロジェクト期間は10年以内)	
6	応募資格	<p>[必要な特定分野の資格・条件(学位などを含む)・専門性等]</p> <p>(1) 博士の学位を有すること。</p> <p>(2) 上記募集領域の研究に対して十分な実績と強い熱意・意欲を持っていること。</p> <p>(3) 自身の専門分野を中心にしながら所内外プロジェクトでの共同研究が可能なこと。</p> <p>(4) 未来材料・システム研究所附属高度計測技術実践センターおよび素粒子計測部の運営に積極的に関わって頂けること。</p> <p>(5) 理学部物理学教室の運営に協力し、物理学等に関連した講義、演習、学生実験を担当できること。</p> <p>(6) 理学研究科理学専攻博士課程(前期および後期課程)の研究指導ができること。</p>	
7	待遇	<p>[採用後の待遇(給与、勤務時間、休日、雇用期間、保険等)]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>東海国立大学機構職員就業規則の定めるところによる。 <a href="https://education.joureikun.jp/thers_ac/act/frame/frame110010928.htm">https://education.joureikun.jp/thers_ac/act/frame/frame110010928.htm</a></li> <li>給与は本機構において定める年俸制とする。</li> </ul>	
8	応募期間	応募開始日から2024年8月31日(土)17:00必着(予定)	
9	応募・選考結果通知連絡先	<p>[応募方法]</p> <p>以下の書類を、応募期間内(必着)にメールにより提出。</p> <p>(1) 履歴書(書式自由、写真貼付、電子メールアドレスを含む連絡先記載)</p> <p>(2) 研究業績リスト(①査読付き原著論文(論文引用数を表記:Scopus基準)、②国際会議、③著書、④総説・解説など、⑤特許、⑥受賞、⑦招待講演、⑧外部資金獲得実績(研究費がついていない国内外の共同研究を含む)、⑨学会活動を含む社会貢献に分けて記載)[共著者名はすべて掲載順に記入し、自身の箇所に下線を付すこと。]</p> <p>(3) 主な論文5編以内(上記(2)研究業績リストに※印を付すこと。)</p> <p>(4) これまでの教育・研究の概要(任意形式でA4用紙3ページ以内)</p> <p>(5) 着任後の研究プロジェクト課題名とその研究計画(任意形式でA4用紙3ページ以内、研究プロジェクト期間は5~10年)</p> <p>(6) 教育研究に関する抱負(任意形式でA4用紙3ページ程度)</p> <p>(7) 所見を求めうる方(2名)の氏名、所属、連絡先</p> <p><b>書類送付先:</b>名古屋大学 未来材料・システム研究所 所長 内山 知実 宛 uchiyama*@*is.nagoya-u.ac.jp director*@*imass.nagoya-u.ac.jp (メールを送る際は@前後の*を削除して下さい。)</p>	

		<p>※メールは上記2つのアドレスに送付すること。全文書をまとめたPDF ファイルを電子メールに添付すること。ファイルサイズが大きい場合は大容量ファイル転送サービス等を利用すること。</p> <p><b>問 合 先:</b>名古屋大学未来材料・システム研究所  高度計測技術実践センター センター長 武藤 俊介  電子メール smuto*<i>@</i>*imass.nagoya-u.ac.jp  (メールを送る際は@前後の*を削除して下さい。)  電話 052-789-5200  ウェブサイト <a href="http://www.imass.nagoya-u.ac.jp">http://www.imass.nagoya-u.ac.jp</a></p>
		<p>[選考内容 (選考方法、採否の決定) ]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・書類選考の上、面接を実施します。</li> <li>・面接実施者については、メール等で連絡を行います。</li> </ul>
10	みなし輸出について	<p>2021年11月「外国為替及び外国貿易法」(外為法)に基づく「みなし輸出」における管理対象の明確化に伴い、大学・研究機関における教職員への機微技術の提供の一部が外為法の管理対象となりました。これに伴い、本公募に応募の際には「類型該当性判断のフローチャート」を確認したうえで、様式1「類型該当性の自己申告書」の提出が必要となります。</p> <p>以下から自己申告書様式をダウンロード・記入し、他の応募書類とともにご提出ください。<a href="https://nuss.nagoya-u.ac.jp/s/SngAFPBWp52NCyB">https://nuss.nagoya-u.ac.jp/s/SngAFPBWp52NCyB</a></p> <p>なお、採用となった場合は別途「誓約書」の提出が必要となります。</p>
11	そ の 他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・提出された書類については、本選考以外の目的には使用しません。</li> <li>・応募書類は、本選考委員会が責任を持って処分し、返却しません。</li> <li>・面接に要する交通費は支給しません。</li> </ul>